

2023 年度 高齢者医療・在宅医療総合看護研修 募集要項



2023 年 6 月



国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
National Center for Geriatrics and Gerontology

 高齢者医療・在宅医療総合看護研修 Web サイト
<https://www.ncgg.go.jp/hospital/kenshu/index.html>

2023年6月吉日

関係者 各位

国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
理事長 荒井 秀典

国立長寿医療研究センターにおける
高齢者医療・在宅医療総合看護研修に係る
教育研修事業の実施について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当センターの運営に当たりまして、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。今般、別添のとおり「2023年度 高齢者医療・在宅医療総合看護研修 募集要項」を作成いたしましたので、ご案内申し上げますとともに、広く看護職員およびリハビリテーション職員の皆様にご周知いただきたくお願い申し上げます。

今後高齢化は継続し、高齢者のさらなる増加が見込まれ、在宅医療政策は重点化の方向に向かっています。認知症高齢者への対応や高齢者のエンドオブライフケア並びに在宅医療などにおいて、看護師は多職種協働における主体的な役割を担うため、的確な判断力・観察力や、看取りを含む医師の（包括的な）指示への対応など高度かつ総合的な看護実践力が求められます。本研修は病院や高齢者ケア施設、在宅において、高齢者ケアの拡充も期待されている看護師を対象とし実施しています。

さらに本年度、一部の講座（高齢者のリハビリテーション）をリハビリテーション職員の皆様も受講いただけるようにいたしました。

本研修は2日間の短期集中講義形式での研修となっております。講師陣は老年期に重要な疾患である認知症、フレイル、サルコペニア、ポリファーマシー、嚥下障害、肺炎、心不全、転倒・骨折、褥瘡、尿失禁などについて老年医学の専門医や在宅医療に精通した医師が担当します。さらに、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学・作業療法士、言語聴覚士などの多職種の講師陣がそれぞれの専門的立場から講義や事例検討などを行います。2日間欠課なく受講された方には、修了証を交付します。

本研修の受講をご希望される看護職員およびリハビリテーション職員におかれましては、インターネットもしくはご郵送でお申し込みください。締め切りは2023年8月1日（火）です。併せてご周知のほどお願いいたします。

末筆となりましたが、貴施設の益々のご発展と高齢者医療福祉の増進に寄与されますことを、心よりお祈り申し上げます。

謹 白

<問い合わせ先>
474-8511 愛知県大府市森岡町 7-430
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
長寿医療研修センター
猪口 里永子
TEL 0562-46-2311 (代表)
MAIL inokuchi@ncgg.go.jp

1. 高齢者医療・在宅医療総合看護研修について

わが国においては長寿社会が実現し、今後もさらなる高齢化の進展が予測されています。高齢者医療・在宅医療の臨床現場における看護師の役割はますます高くなると期待されています。

近年、老年医学・老年看護学などの老年専門領域では、健やかに老い安らかに最期を迎えるということを基盤に、研究成果や知見も増え、高齢者にふさわしい医療とケアの提供、システムの整備、社会保障のための施策が検討されています。このような背景から本研修では、受講していただく看護師みなさまの実践に役立つ研修を目指し、臨床実践の場で標準的に活用できる老年医学や老年看護の専門的知識、及び高齢者医療・在宅医療における昨今の社会的動向、新しい取り組みなどについて学び、理解・関心が深めていただけるよう開催しています。

高齢者医療・在宅医療総合看護研修の目的・目標

<目的>

老年期を生きる人びとの心身の特徴や取り巻いている環境を包括的・全人的に理解し、医学的な根拠や看護の専門知識に基づいて、高齢者医療・在宅医療に対応する実践的な看護師を育成する。

<目標>

- 1) 老年期に現れやすい症候や機能障害について理解を深める。
- 2) 高齢者の健康問題の特定や全体像把握のためのアセスメント能力向上となる科学的根拠を習得する。
- 3) 高齢社会の動向や長寿社会のニーズを知り、高齢者にふさわしい医療とケアについて考えを深める。
- 4) 高齢者が人生を終える時期に必要なケアに関する知識や、近年の動向について習得する。
- 5) 高齢者の尊厳や人権を重視し、高い倫理性に基づく良質な医療とケアの実践について考えを深める。

2. 高齢者医療・在宅医療総合看護研修の開講講座

前述の研修目的と目標に沿って、国立長寿医療研究センターでの臨床実践・研究活動を踏まえたプログラムを構成しています。

2023年度の開講講座は表の通りです。

今年度は、高齢者の医療とケア 1、2、高齢者の在宅医療・エンドオブライフケア、認知症高齢者の看護②は ZOOM(リアルタイム)によるオンライン開催です。認知症高齢者の看護①および高齢者のリハビリテーション、認知症の看護・実習は現地開催となります。

各講座の講義は、2日間の短期集中講義形式で開催いたします。講義は内容により 60分または 90分を1コマとします。但し、すべての事例検討は 90分1コマで行います。

講座名

● 高齢者の医療とケア1	オンライン研修
● 認知症高齢者の看護①(認知症ケア加算の施設基準対応研修)	現地集合研修
● 高齢者の在宅医療・エンドオブライフケア	オンライン研修
● 高齢者の医療とケア2	オンライン研修
● 認知症高齢者の看護②(認知症ケア加算の施設基準対応研修)	オンライン研修
● 高齢者のリハビリテーション	現地集合研修

「認知症高齢者の看護」の講座は、2016年度診療報酬改定で新設され、2020年度に改定された「認知症ケア加算」の施設基準の研修に合致した内容で、その対象研修としての認定を受けています。

3. 講座目標・講義テーマ・講師・時間割等

高齢者の医療とケア1		2023.9.27(水)～9.28(木)	
1日目		2日目	
9:20～9:30	オリエンテーション	9:30～10:30	講義
9:30～10:30	講義	10:45～11:45	講義
10:45～11:45	講義	13:00～14:00	講義
13:00～14:00	講義	14:15～15:15	講義
14:15～15:15	講義	15:30～16:30	講義
15:30～16:30	講義		
講座目標			
1) 高齢者に特徴的な疾病・症候や、その予防・治療について理解する。 2) 高齢者を包括的に診る視点や、症状の観察、判断の要点について理解する。 3) 高齢者を全人的に捉え、ケアを提供するために必要な看護の専門知識について習得する。 4) 高齢者へのケアを実践・展開する上で主体性を尊重することや倫理的視点について理解する。			
講師・講義テーマ（講義順）			
佐竹 昭介	(老年内科部長)	高齢者の多病と多様性	
溝神 文博	(薬剤師)	高齢者の薬物療法	
新美 千佳	(副看護師長)	脳卒中リハビリテーション看護	
サブシ森田さゆり	(副看護師長)	高齢者のフットケア	
野宮 正範	(泌尿器外科医長)	高齢者の排尿障害	
尾崎 健一	(リハビリテーション科 医師)	高齢者のリハビリテーション総論	
三浦 久幸	(在宅医療・地域医療連携推進部長)	老いや死の価値	
伊藤 史朗	(摂食・嚥下障害看護認定看護師)	口から食べるということ	
鈴木 葉子	(同上)	認知症高齢者の摂食嚥下に対するケア	
伊藤 史朗	(同上)	事例検討（摂食嚥下障害事例）	

認知症高齢者の看護① *注意 現地集合研修		2023.10.25(水)～10.26(木)	
1日目		2日目	
9:00～9:10	オリエンテーション	9:00～10:30	講義
9:10～10:40	講義	10:40～12:10	講義
10:50～12:20	講義	13:10～14:40	講義
13:20～14:50	講義	14:50～16:20	講義
15:00～16:30	講義		
講座目標			
1) 認知症の病態・診断・予防～治療について理解する。 2) 認知症を有する人を中心とした理念に基づく対応やコミュニケーション方法を理解する。 3) BPSD・せん妄を呈する認知症高齢者のアセスメントの要点と援助について理解する。 4) 認知症を有する人の療養環境に対する倫理的視点と人的・物的環境の調整方法を理解する。 5) 認知症に関する近年の動向、施策について理解する。			
講師・講義テーマ（講義順）			
堀部 賢太郎	(連携システム室長)	認知症の診断と治療	
竹内 さやか	(認知症看護認定看護師)	認知症ケアの基本	
門井 真衣	(名古屋市立大学 東部医療センター 老人看護専門看護師)	BPSDへの対応・環境調整	
佐藤 晶子	(聖隷三方原病院 老人看護専門看護師)	認知症ケアの倫理	
萩原 淳子	(認知症看護認定看護師)	認知症高齢者とのコミュニケーション	
島田 裕之	(老年学・社会科学研究センター長)	認知症予防・コグニサイズ	
安野 史彦	(精神科部長)	せん妄・うつ	
猪口 里永子	(老人看護専門看護師)	事例検討	

講座目標

- 1) 高齢者の在宅医療に関わる施策や在宅医療推進、地域包括ケアについて理解する。
- 2) 高齢者の在宅医療の実際や多職種役割・活動について理解する。
- 3) 在宅療養中の高齢者に生じている諸問題と社会支援・制度について理解する。
- 4) 高齢者の退院支援や多職種との連携に関する具体的方策について考察する。
- 5) エンドオブライフ期の医療とケアに関する諸問題や近年の動向を理解する。
- 6) 非がん疾患の終末期の苦痛を緩和する医療の実際について理解する。
- 7) 高齢者の人生及び価値観、文化にも配慮する医療とケアについて理解する。
- 8) エンドオブライフケアにおける看護の役割や、チームアプローチについて考察する。

1日目		2日目	
8:50 ~ 9:00	オリエンテーション	9:00 ~ 10:00	講義
9:00 ~ 10:00	講義	10:15 ~ 11:15	講義
10:15 ~ 11:15	講義	11:30 ~ 12:30	講義
11:30 ~ 12:30	講義	13:30 ~ 14:30	講義
13:30 ~ 14:30	講義	14:45 ~ 16:15	講義
14:45 ~ 15:45	講義		
16:00 ~ 17:00	講義		

講師・講義テーマ（講義順）

加藤 亜妃子 (金城学院大学 看護学部 准教授)	EOLケアの基本
勅使川原 元 (名古屋大学附属病院 老人看護専門看護師)	EOLにおけるコミュニケーション
横江 由理子 (いきいき在宅クリニック 看護部長)	在宅におけるEOLケア
荒井 祐子 (小規模多機能エム・ケア名東 老人看護専門看護師)	小規模多機能における認知症高齢者へのケア
加藤 大策 (有限会社エトス いしがせ薬局)	訪問薬剤師の実践活動
伊藤 淳津子 (薬剤師)	症状緩和(薬物療法を中心に)
三浦 久幸 (在宅医療・地域医療連携推進部長)	病院からのアウトリーチ活動
野村 秀樹 (あいち診療会 あいち診療所 野並 院長)	在宅医療と地域連携
西川 満則 (老人保健施設 相生 施設長)	症状マネジメント
百瀬 由美子 (日本赤十字豊田看護大学 大学院 研究科長)	高齢者の尊厳とEOLにおける倫理的課題
猪口 里永子 (老人看護専門看護師)	事例検討

高齢者の医療とケア2

2023.11.8(水)~11.9(木)

講座目標

- 1) 高齢者に特徴的な疾病・症候や、その予防・治療について理解する。
- 2) 高齢者を包括的に診る視点や、症状の観察、判断の要点について理解する。
- 3) 高齢者を全人的に捉え、ケアを提供するために必要な看護の専門知識について習得する。
- 4) 高齢者へのケアを実践・展開する上で主体性を尊重することや倫理的視点について理解する。

1日目		2日目	
9:20 ~ 9:30	オリエンテーション	9:30 ~ 10:30	講義
9:30 ~ 10:30	講義	10:45 ~ 11:45	講義
10:45 ~ 11:45	講義	13:00 ~ 14:00	講義
13:00 ~ 14:00	講義	14:15 ~ 15:45	講義
14:15 ~ 15:15	講義	16:00 ~ 17:00	講義
15:30 ~ 16:30	講義		

講師・講義テーマ（講義順）

玉野 美帆	(訪問看護ステーション太陽 副主任 訪問看護認定看護師)	暮らしを支える看護
鈴木 宏和 下野 真理子	(耳鼻科医長)	高齢者の聴覚と嗅覚
櫻井 孝	(研究所長)	認知症の基礎知識
齊藤 幸代	(副地域医療連携室長 看護師長)	退院支援の基礎知識
磯貝 善哉	(皮膚科部長)	高齢者の皮膚・褥瘡
前川 裕子	(感染管理認定看護師)	高齢者の感染症と看護
清水 敦哉	(循環器内科部長)	高齢者の循環器治療
柴山 亜侑美	(慢性呼吸器疾患看護認定看護師)	COPD 事例検討
高見 雅代	(医療ソーシャルワーカー・精神福祉士)	高齢者医療・福祉制度

高齢者のリハビリテーション

2023.11.15(水)~11.16(木)

*注意 リハビリテーション職員の方も受講可能。現地集合研修

講座目標

- 1) 加齢によって生ずる心身機能の変化と特徴について理解する。
- 2) 高齢者の生活機能や ADL の維持向上にむけたリハビリテーションの重要性を理解する。
- 3) 高齢者のリハビリテーションに関わるセラピストの役割や、実際の活動について理解する。
- 4) 高齢者の心身の状態や生活機能の維持向上に資する看護について考察する。

1日目		2日目	
9:00 ~ 9:10	オリエンテーション	9:00 ~ 10:00	講義
9:10 ~ 10:10	講義	10:10 ~ 11:40	講義
10:20 ~ 11:50	講義	12:40 ~ 13:40	講義
12:50 ~ 14:20	講義	13:50 ~ 14:50	講義
14:30 ~ 15:30	講義	15:00 ~ 16:30	講義
15:40 ~ 15:50	講義		

講師・講義テーマ（講義順）

松井 孝之	(理学療法主任)	高齢者の転倒の実際
佐藤 健二	(理学療法主任)	生活期リハの概要と自立支援機器の紹介
田口 大輔	(理学療法主任)	認知症のリハビリテーション
荒井 秀典	(理事長)	フレイルについて
新美 千佳	(副看護師長)	脳卒中リハビリテーション看護
前田 篤史	(栄養管理室 副管理室長)	フレイルな高齢者の栄養管理
出口 澄佳	(脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師)	高次脳機能障害へのケア
小島 秀樹	(医療ソーシャルワーカー)	ACPの実践活動
小島 由紀子	(言語聴覚主任)	嚥下障害に対するリハビリテーション
西崎 洋二	(脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師)	事例検討

認知症高齢者の看護② *注意 オンライン研修

2023.12.6(水)～12.7(木)

講座目標

- 1) 認知症の病態・診断・予防～治療について理解する。
- 2) 認知症を有する人を中心とした理念に基づく対応やコミュニケーション方法を理解する。
- 3) BPSD・せん妄を呈する認知症高齢者のアセスメントの要点と援助について理解する。
- 4) 認知症を有する人の療養環境に対する倫理的視点と人的・物的環境の調整方法を理解する。
- 5) 認知症に関する近年の動向、施策について理解する。

1日目		2日目	
9:00～9:10	オリエンテーション	9:00～10:30	講義
9:10～10:40	講義	10:40～12:10	講義
10:50～12:20	講義	13:10～14:40	講義
13:20～14:50	講義	14:50～16:20	講義
15:00～16:30	講義		

講師・講義テーマ（講義順）

堀部 賢太郎（連携システム室長）	認知症の診断と治療
竹内 さやか（認知症看護認定看護師）	認知症ケアの基本
門井 真衣（名古屋市立大学 東部医療センター 老人看護専門看護師）	BPSDへの対応・環境調整
竹内 佳見（愛知県立大学 看護学部 老人看護専門看護師）	認知症ケアの倫理
萩原 淳子（認知症看護認定看護師）	認知症高齢者とのコミュニケーション
安野 史彦（精神科部長）	せん妄・うつ
小菅 もと子（NPO法人地域の応援団えがお 副代表）	認知症の人と家族に寄り添う
猪口 里永子（老人看護専門看護師）	事例検討

認知症高齢者の看護・実習

第1クール 2023.10.5(木)～10.6(金)
 第2クール 10.19(木)～10.20(金)
 第3クール 12.14(木)～12.15(金)

講座目標

- 1) その人中心のケアの理念に基づく病棟運営の実際を理解する。
- 2) 身体合併症を有する認知症高齢者への医療とケアの実際を理解する。
- 3) 習得した知識・技術に基づき認知症高齢者にかかわり、認知症ケアが実践できる。
- 4) 認知症ケア推進のためのチームアプローチ、組織的活動について理解する。

実習時間	1日目	2日目
9:00～12:00	オリエンテーション DST ラウンド見学	多職種カンファレンス見学（8:30～） 認知症高齢者とのかかわり
13:00～16:00	認知症高齢者とのかかわり 軽度認知障害・認知症の方と ご本人・ご家族教室参加 リハビリ・レクリエーション参加	認知症高齢者とのかかわり 実習の振り返り

実習病棟・受講資格

認知症専門病棟、もの忘れセンター（オレンジルーム）など

実習の受講は、2012～2023年度に開催された本研修内の「認知症高齢者の看護」の修了者に限る。

※申込書には、「認知症高齢者の看護」を受講した年度を記載してください。

実習指導者

竹内 さやか（認知症看護認定看護師） 萩原 淳子（認知症看護認定看護師）
 猪口 里永子（老人看護専門看護師）

4. 受講資格・募集定員・研修費

【受講資格】実務経験2年以上の看護師 またはリハビリテーション職員

【募集定員】オンライン研修 90名

現地開催研修(認知症高齢者の看護①、高齢者のリハビリテーション) 60名
各実習5名 (各研修および実習はすべて先着順となります)

【研修費】講義 20,000円/2日間、実習 6,000円/2日間

講座名(開催順)	日程	研修方法	期間	研修費
高齢者の医療とケア1	9/27(水)～9/28(木)	講義	2日間	20,000円
認知症高齢者の看護①(集合研修)	10/25(水)～10/26(木)			
高齢者の在宅医療・EOLケア	11/1(水)～11/2(木)			
高齢者の医療とケア2	11/8(水)～11/9(木)			
高齢者のリハビリテーション (リハビリテーション職員の方も受講可能。 集合研修)	11/15(水)～11/16(木)			
認知症高齢者の看護②(オンライン研修)	12/6(水)～12/7(木)			
認知症高齢者の看護・実習	10/5(木)～10/6(金) 10/19(木)～10/20(金) 12/14(木)～12/15(金)	実習	2日間	6,000円

※ 講義は最少8名から実施、実習は最少3名からいたします。

※ 「認知症高齢者の看護・実習」の受講は、本研修における「認知症高齢者の看護」の修了者を対象に開講しています。詳細は6ページをご覧ください。

※ 振込みされた研修費は返金に応じられませんのでご注意ください。やむを得ず出席が難しくなった場合には、代理の受講者についてご連絡ください。また、領収書は発行いたしませんので、振込用紙の振込金受領書をそれに代えてください。

5. 研修申し込み方法

○研修の申し込み方法は、インターネット(Web)もしくは郵送のどちらかです。

<郵送>

募集要項最終ページの研修申込書に必要事項を記載し、国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター宛に郵送してください。封筒には「総合看護研修申込書在中」とお書きください。

【研修申込書 郵送先】

〒474-8511 愛知県大府市森岡町 7-430

国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター
高齢者医療・在宅医療総合看護研修 事務局

<インターネット(Web)>

右記 QR コードもしくは URL へアクセスし、お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/GvysxaDpQq>



○おひとりで複数の講座の受講も可能です。

○申し込みは先着順で受け付けます。

後日、受講決定通知書および受講料振込依頼票を送付いたします。

受講料を指定期日までにお振込みください。

○申し込み締め切り

2023年8月1日(火)消印有効

6. 受講にあたってのお知らせ

本研修はご自宅やご自身の施設などで受講ができますが、ネット環境、PC 機器の設備環境等につきましてはご自身で準備していただく必要があります。

1. 受講に必要な以下のネット環境をご準備ください。
 - ①一人一台の端末でご受講ください。
 - ②安定したネット回線をご用意ください。
携帯電話会社の回線でも使用は可能ですが、通信量が大きいので、有線LANケーブルや安定したネット回線(Wi-Fi など)での受講をおすすめします。
※ スマートフォン、タブレット端末でも視聴できますが、推奨環境外ですのでご注意ください。
※ カメラが映らない、音が出ない、インターネットに接続できないなどシステムや環境上のフォローはできかねます。
 - ③ご自身が利用されるモバイル通信の契約内容によっては、別途通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
2. Zoom に参加できるよう、以下の 3 点をご準備ください。
 - ①パソコン・・・安定した通信環境でインターネットに接続できるパソコン
事前に Zoom アプリ(無料)をインストールしてください。
 - ②パソコン内蔵や付属のカメラ/USB 接続の web カメラなど
 - ③イヤホン/パソコン内蔵や付属スピーカー/ヘッドセット/マイクスピーカー
3. 受講に際し以下の行為は禁止しておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。
 - ①研修の映像・音声を録画・録音等などの複製行為
 - ②外部への公開や二次利用するなどの転載行為
4. 講師の都合により講師の変更等を行うことがございます。
5. 教育研修棟には宿泊室が併設されております(宿泊費：1泊3,000円)。
現地開催の研修や実習に参加される方で、宿泊をご希望される方は国立長寿医療研究センターホームページ TOP から長寿医療研修センターを選んでください。
宿泊予約申込書がアップされています。
必要事項を記載の上、FAX・メール・郵送のいずれかでお送りください。先着順に受け付けいたします。
なお、宿泊予約のお電話による申込みには応じておりませんので、ご注意ください。
※アメニティについて、目覚まし時計、冷蔵庫、電気ポット、ヘアドライヤー、LAN ケーブル(先着順)のご準備があります。基本的には個人でご準備ください(売店で一部販売しています)。

【問い合わせ先】

〒474-8511 愛知県大府市森岡町 7-430 国立長寿医療研究センター
長寿医療研修センター 高齢者医療・在宅医療総合看護研修事務局

○研修内容について

高齢者看護学教育研修室 猪口里永子(inokuchi@ncgg.go.jp)

○研修費振込、手続き等について

研修管理室

野田英時(noda-eiji@ncgg.go.jp)

